

ドクターインタビュー

同じく人には言いづらい、聞きづらい更年期障害。

“こんな症状、私だけかもしれない”と一人で抱え込むのはやめましょう。のぼせ感(ホットフラッシュ)について言えば、更年期の女性の6割以上の方が経験しており、1割の方が治療対象の中程度以上と言われています。日常生活に支障をきたす場合は我慢せずに専門医に相談しましょう。

更年期障害とは？

日本人の平均閉経年齢は50歳であり、この閉経前後の10年間（45～55歳）を更年期と言います。この期間中にのぼせ感・頭痛・めまい・イライラ感・不眠などの症状を訴え、その程度がきつくる日常生活に支障をきたす場合を更年期障害と言います。



原因は？検査は？

大きく3つの要因が考えられています。

- 1) ホルモン要因（閉経による女性ホルモン低下に身体が順応できない）
- 2) 環境要因（職場や家庭内のストレスなど）
- 3) 気質要因（クヨクヨ考え込んでしまうなど）

この3つの要因を踏まえて充分問診し、ホルモン値の測定、質問形式の更年期スコアリングなどを参考にして診断します。

どんな治療が行われるの？

ホルモン補充療法（HRT）が一般的ですが、漢方薬がホルモン剤と同等の効果を示す症例も多く、抗不安剤や入眠剤の投与、心理療法が有効な場合もあります。

薬局紹介

このコーナーでは、各店舗の紹介をいたします。

処方せん受け付け以外でも、あなたの街の健康パートナーとして是非お立ち寄りください。

天神橋ゆーあい薬局

大阪市北区に南北2.6キロメートル、600店が並ぶ日本一長いアーケード商店街、天神橋筋商店街の中央付近に2013年9月にオープンした調剤薬局です。直近の佐藤内科クリニック・にしぐち小児科・かわぐちクリニックを中心に、北野病院をはじめ近隣の医療機関からの処方箋を応需しております。小さいながら、既に850品目以上の医薬品を備蓄している発展途上の薬局です。お買い物の合間にお薬をご用意させていただくことも可能です。周辺の活気に負けず、すべての患者様に安心してご利用いただける街のかかりつけ薬局となるようスタッフ一同、日々努力しております。どうぞ、お気軽にご相談ください。

住所：〒530-0041 大阪市北区天神橋4丁目7-2 南扇町ビル1F
TEL：06-6232-8450 FAX：06-6232-8451



株式会社ユアアイファーマシーのホームページです。 <http://www.ui-ph.co.jp/>

皆さんも是非ご覧下さい。

ユアアイファーマシー

検索



ゆーあい通信

2014年
Vol.9



いつも弊社の薬局をご利用いただきありがとうございます。

日ごとに寒さ加わる時節になってきました。いかがお過ごしでしょうか。

高齢化が進む現在、当薬局では調剤業務だけではなく、医療・介護・福祉の相談などこれまで以上に密に接し地域の皆様のお役に立ちたいと考えております。より一層の努力を重ねてまいりますのでどうぞ今後ともよろしくお願いします。

お薬正しく飲めていますか？

「飲み薬はカップ一杯の水またはぬるま湯で服用しましょう」

水なしで飲んだり水の量が少なかったりすると・・・

- ・薬がのどや食道に引っかかり、炎症を起こしたり潰瘍ができたりします。
(横になった姿勢で薬を飲んだり、飲んですぐに横になったりすると薬がのどにひっかかりやすいので避けましょう)



水以外のもので服用すると・・・

- ・薬の吸収が悪くなったり、逆に効きすぎて副作用がでたりするものもあります。

ただし以下の薬は唾液で崩壊するように作られているので水がなくても服用することができます。

- ☆口腔内崩壊錠（OD錠）・・・口の中ですぐに溶け水がなくても飲める薬のかたち
- ☆舌下錠・バッカル錠・・・口腔粘膜から成分を吸収させる薬のかたち
- ☆チュアブル錠・・・かみ碎いたり唾液で溶かしたりして飲む薬のかたち

「飲む時間を守りましょう」

①食前：食事の30分ぐらい前

- ・胃の中が空っぽの時に飲んだ方が吸収や効果がよい薬
- ・胃酸の分泌を促して食欲を出す薬、消化器の働きをよくすることで吐き気等を抑える薬など

②食直前：食事の直前（5～10分前）

- ・糖の吸収を抑えることにより血糖値の上昇を抑える糖尿病の薬など

③食直後：食事のすぐ後

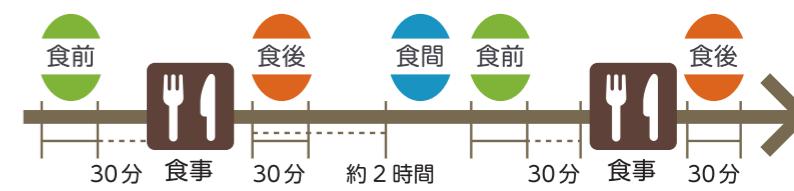
- ・胆汁が十分腸内に出ている食直後の方が吸収がよい薬など（油に溶けやすい薬）

④食後：食事の後30分ぐらいまで

- ・食べ物と一緒にの方が吸収がよい薬
- ・胃腸障害を起こしやすい薬など

⑤食間：食事の後2時間ほど

- ・食べ物と一緒にない方が吸収がよい薬
- ・直接胃の粘膜に接して効果を発揮する薬など



「お薬は必ず包装シートから取り出して飲みましょう」

誤って包装シートのまま飲みこんでしまう事例が増えています。

包装シートのまま飲んでしまうと、のどや食道を傷つけるおそれがあり大変危険です。



➡ ドクターインタビュー

今回のドクター・インタビューは「乳がん」について「橋本クリニック」橋本隆先生に、「不妊症・更年期障害」について「くぼたレディースクリニック」窪田耕三先生にお話を伺いました。

～乳がんについて知っていますか？～

一生涯のうち乳がんと診断される女性は、およそ20数人にひとり、しかし、乳がんの多くは比較的性質の良いがんと言われています。優れた検査や有効な手段が多いことから早期に発見し適切な治療を受ければ、より高い確率で完全に治すことができます。

どんな原因があるの？

乳がんの発生や増殖のひとつの要因として、エストロゲン(女性ホルモン)があげられます。エストロゲンの分泌量が多く、血中エストロゲン濃度の高い期間が続くと発がん率が高くなります。そうなる原因として、①月経期間の延長(昔と比べると初潮が早く閉経が遅くなつたため月経回数が増加した)②閉経後の肥満(閉経後もエストロゲンは脂肪組織に多いアロマターゼにより作られる)③長期にわたるホルモン補充療法その他にも遺伝的素因、過度な飲酒や喫煙も原因になることがあります。

どんな症状があるの？

- 1) 乳房のしこり(触ってもほとんど痛みはない)
 - 2) 乳房の違和感や痛み(片側一部分に腫瘍の圧による痛み、生理前とは違う痛み)
 - 3) 乳頭出血
- などが、主にあげられます。

橋本クリニックの特徴

がんの性格や進行度に基づいた治療・患者様のキャラクターや背景に合わせた個別化治療を行っております。

乳房の異常・リンパ浮腫・お腹の気になることがあればご相談ください。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○
14:00 ~ 16:00	神鋼病院 外来診察	外来手術 特殊検査	神鋼病院 入院手術	外来手術 特殊検査	兵庫県予防 医学協会	/
16:00 ~ 18:30	○	○		○	○	/

○：一般外来 特殊検査：リンパ管造影検査など

各種検査・外来手術・セカンドオピニオン外来は随時施行可です。

セカンドオピニオン外来は予約制(30分/単位)、ご希望の日時をお知らせください。

乳がん検診は随時施行、ご予約ください。



どんな検査があるの？

まずはがんを見つける為にマンモグラフィーや超音波(エコー)を行い、細胞診や組織診でがんを確定します。がんのひろがりを調べる為にMRIやCT、PET-CTや骨シンチグラフィーを行う場合もあります。

どんな治療が行われるの？

進行度やひろがりを調べた上で、手術療法・放射線療法・薬物療法を組み合わせて治療を進めるのが一般的です。薬物療法においては、ホルモン療法・化学療法・抗HER2療法などがあります。

病院選びのポイント

乳がんにおいては、婦人科よりも乳腺(外)科などの専門科を受診することが重要です。またDrとの相性も大切で、10年付き合うことのできる病院を探しましょう。



➡ ドクターインタビュー

～不妊症・更年期障害について知っていますか？～

近年の晩婚傾向で8組に1組が不妊症と言われており、検査・治療のために病院を訪れるカップルは年々増加しています。しかし、周りの誰にも相談できずに一人で悩み続けている方も多くおられると思います。本人だけではなく周りの方々も不妊症についての正しい知識を身につけていただき、ゆっくり落ち着いて治療できる環境づくりの手助けをしていただくことも大切です。



不妊症とは？

妊娠を希望されているご夫婦が2年間以上妊娠しない場合を“不妊症”と定義しています。最近は結婚年齢が高くなっていることもあります。不妊期間が短くても検査・治療を開始することもあります。

どんな原因や検査があるの？

主に以下の4つの因子が挙げられます。

- 1) 男性因子(射精ができない・精子の数が少ない・運動性が悪い)：問診・精液検査
- 2) 卵管因子(卵管がつまっている)：子宮卵管造影検査
- 3) 排卵因子(排卵がない、不規則)：基礎体温測定・ホルモン値測定・超音波検査
- 4) 子宮因子(着床すべき内膜が薄い・子宮の内腔の変形)：超音波検査・子宮鏡検査

病院選びのポイントは？

病院の大きさにはこだわらず、充分な検査ができ、治療に対する充分な説明がある病院やクリニックを選ぶことが大切です。そのうえで社会的背景もありますが、卵子の加齢による機能低下を考慮すれば、できるだけ35歳までに妊娠できるよう女性側の年齢に配慮することもポイントかと思います。

くぼたレディースクリニックの特徴

不妊治療に力を入れており、検査では子宮卵管造影検査や子宮鏡検査、治療では人工授精のみならず、体外受精・顕微授精まで行っています。もちろん、一般婦人科検診、更年期障害、低用量ピル・アフターピルなどにも対応していますのでご相談ください。外来は予約制ではありません。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○
15:30 ~ 19:00	○	○	○	/	○	/

